

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府高槻警察署	階数	地上6F
建設地	大阪府高槻市南芥川町	構造	SRC造
用途地域	第二種住居地域、準住居地域、準防火地域	平均居住人員	385 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2024年2月22日
敷地面積	4,675 m <sup>2</sup>	作成者	杉原
建築面積	1,339 m <sup>2</sup>	確認日	2024年3月7日
延床面積	6,834 m <sup>2</sup>	確認者	寺田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★★☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
警察署という施設特性と本計画の規模に適したシステムの採用を基本に、立地特性を踏まえたパッシブデザインと自然エネルギー利用を含めた環境技術を組み合わせた計画とします。	・太陽光パネル10kWを設置
<b>Q1 室内環境</b> ・方位別の開口計画と自然換気・通風を確保した計画 ・空調ゾーンによる冷暖房切り替えシステム ・昼光利用や照明成語システム	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・街並みに配慮した建物形状・開口部等の計画 ・良好な景観形成に寄与する緑化計画
<b>LR1 エネルギー</b> ・設備機器の高効率化 ・外壁や屋根の断熱性の確保し熱負荷を低減 ・ライトシェルフによる自然エネルギーを利用した採光計画	<b>LR3 敷地外環境</b> ・騒音・振動規制法の遵守 ・廃棄物処理負荷抑制への配慮
<b>Q2 サービス性能</b> ・維持管理しやすい仕上材や材料の選定 ・耐震性能1.5を確保 ・バリアフリーに適合 ・適切な階高設定	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・木材の内外装利用 ・スケルトン・インフィルの徹底	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	大阪府高槻警察署					
	建設地	大阪府高槻市南芥川町					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	警察署という施設特性と本計画の規模に適したシステムの採用を基本に、立地特性を踏まえたパッシブデザインと自然エネルギー利用を含めた環境技術を組み合わせた計画とします。	